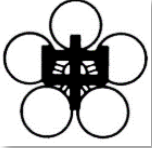


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



# 輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和元年度 第 23号  
令和2年3月25日  
校長 水谷 智子

## 今年度の終わりに

今日で平成31年度(令和元年度)が終わります。いろいろあった一年間でした。

現在は、新型コロナウイルス関連でいろいろな対応をしていますが、2月の終わりまでは、計画通りの教育活動を実施することができました。昨年度、創立60周年の記念式典を終えたこと、また、社会の変化に伴い、学校に求められているものが変わってきたことを踏まえて、今年度は、「新しい加賀中学校を創ろう」と様々な改革に取り組みました。毎日の始業を5分早め、行事を見直し、小中の連携を深め…と、新しいことに次々取り組む中で、生徒や保護者の皆さんは戸惑うことも多かったと思います。しかし、生徒たちはその変化を前向きに捉えて、「自分たちが令和の時代の新しい学校を創るんだ」という気持ちでチャレンジし、より充実した加賀中生活を過ごし、成長してくれました。板橋区コミュニティ・スクール、小中一貫教育、働き方改革、新学習指導要領移行最終年度と、来年度も大きな変革が目白押しです。今年度、しっかりとその基盤を造ることができました。今日まで本校を支えてくださいましたすべての皆様に、心より深く感謝申し上げます。

### ○修了式式辞から

今日、久しぶりに学校に来て、友達や先生方に会えて、ホッとしたいと思います。臨時休業の間は、自宅学習ということで、思うような生活ができず、「大変だなあ、こんなことなら毎日学校の方が良かったよ」と思うことも多かったでしょう。朝起きて、学校に行って、友達に会って、授業を受けて、給食を食べて、部活動で汗を流す、少し前までは、何の疑いもなく当たり前だと思って過ごしていた毎日でした。失って初めて気づくことがあったでしょう。当たり前前の日常生活を送れること、仲間がいることのありがたさ、一日一日を丁寧に重ねていくことの大切さを感じることができたとすれば、今回のこの困難な状況も、将来、皆さんが生きていく中で、大事な経験になることなのでしょう。この経験をプラスの経験に変えられるよう、頑張ってください。

先週の19日に第61回の卒業式を行いました。3年生の先輩たちは、十分に練習の時間が持てなかったにもかかわらず、立派に巣立っていきました。皆さんにその姿を見てもらえなかったことはとても残念ですが、これまでの3年生の姿を思い起こせば、卒業式の様子は容易に想像がつくと思います。在校生に伝えたかった先輩方の気持ちをしっかりと受け止め、皆さんが「加賀中の伝統」というバトンを引き継いでくれることを願っています。

さて、1年生の皆さんにとって、加賀中での一年間はどうかだったでしょうか？ 4月に加賀中学校に入学して、富士見高原移動教室、運動会、白梅祭など、様々な行事を体験してきました。行事の他、委員会や部活動でも2・3年生の先輩方の後ろ姿から、多くのことを学んできたと思います。小学校時代には味わえなかったような大きな感動を味わい、中学校生活の醍醐味を感じた人も多かったでしょう。授業の方でも、教科毎に担当の先生が変わることに、最初の頃は戸惑いもあったと思いますが、今では、それぞれの先生の個性を理解して、多くの先生方と関わりながら、たくさんのことを学ぶことができました。グループでの話し合いにも慣れてきて、徐々に仲間との絆が深まっているのを感じます。時には友達とぶつかることもあったと思いますが、そのような経験こそが、皆さんの心を成長させ、思いやりの気持ちや我慢する心の強さを育ててくれたのです。皆さんにとって、この一年間の成長はとても大きいものでした。自分自身の成長を振り返り、この成長を支えてくれた仲間や先生方、家族や地域の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、これからも更に成長してほしいと思います。

4月になれば、新入生を迎えて、皆さんは「先輩」になります。新しい仲間たちに、加賀中学校の素晴ら

しさを、是非、伝えてください。皆さんが先輩にしてもらって嬉しかったことを、後輩の皆さんにしてあげてください。後輩に尊敬される、憧れられる上級生になれるよう、この春休み中に、しっかりと心の準備をしておいてください。それが、加賀中学校の中堅学年になるためのミッションです。

2年生の皆さんにとって、中堅学年としてのこの一年間はどうかでしょうか？ 職場体験では、貴重な経験から多くのことを学びました。それは、その後の発表を通して確かに感じることができました。また、2月に皆さんと一緒にいったスキー教室では、1年生の富士見高原移動教室の時から遙かに成長している皆さんの姿を見ることができました。運動会や白梅祭でも、先輩たちに学び、追いつこう、もっと頑張ろうとしている様子が随所に見られ、加賀中生としてしっかりと成長していることを感じました。後期からは、委員会や部活動でも加賀中学校の中心になり、学校全体をリードしてきました。様々な場面で、新しい取組に挑戦しています。皆さんの「創り出そう」という気持ちの表れです。先輩たちから受け継いだバトンをしっかりと握りしめ、さらなる高みを目指してほしいと思います。集中した授業からは、学習にも前向きに取り組んでいる様子が伝わってきました。最近では進路を意識して、一層やる気が増している人が多いようです。本当に頼もしくなったなあと感じます。

4月から、皆さんは加賀中学校の最上級生です。目標とする背中はまだ見えません。けれども、先輩たちの姿は皆さんの目に焼き付いていることでしょう。今度はあなた方の番です。先輩たちが作った壁を越えるべく、努力を重ね、後輩たちの「道しるべ」になってほしいと思います。まずは、この春休み中に、心の準備をしておきましょう。思い立ったが吉日。今日からがスタートです。一日一日を大切に過ごし、「日毎に一步前進」を心がけてください。

春休み中も、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための取組が続きます。何かと制約の多い毎日になるとは思いますが、自主自律、自主創造の心意気を忘れず、加賀中生としての自覚と誇りを持って生活していきましょう。4月の始業式、また、皆さんの元気な顔に会えることを楽しみにしています。健康と安全に気をつけて、有意義な春休みにしてください。

## ◎第61回卒業式



3月19日(木)に第61回卒業式を行いました。今年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業生とその保護者、教職員のみで執り行いました。内容も、卒業証書授与・校長式辞・卒業生合唱(中学時代)と例年よりも縮小して行いましたが、思いのこもった卒業式になりました。

事前に、先生方で作成した「加賀中学校プレゼンツ『卒業式練習用動画』」で練習していた成果もあり、当日の卒業式は滞りなくおこなわれました。卒業生合唱の『中学時代』は2月までしか練習できなかったにもかかわらず、しっかりとした合唱になりました。加賀中生の底力を見たように思います。

3学年の廊下には、在校生からのメッセージカードが飾られ、校庭には、かがもんの地上絵が描かれて、卒業生の前途を祝福しました。このような時にも、加賀中学校全体で卒業生を送り出すことができたことを嬉しく思っています。加賀中学校卒業生の前途に幸あれ！



現在、新型コロナウイルスの影響で学校の教育活動が滞っており、新年度の学校再開も予断を許さない状況です。どのような事態になりましても、教職員一同気持ちを一つにし、『チーム加賀中』となって進んで参ります。今年度、皆様方より加賀中学校に賜りましたご理解ご協力に心より感謝申し上げますとともに、さらなるご支援をお願い申し上げ、年度の終わりのご挨拶といたします。

